

明石市立大蔵中学校だより「2021年2月17日(第98号)」

書あり 師あり 友ありて

発想の展開をいかにできるか！

学校長 平田 高之



新型コロナウイルス感染症で厳しい現状の人々を特集する番組をよく見かけますが、先日、NHKの「所さん大変ですよ！」で、新型コロナウイルス感染症で厳しい学生生活を送っている大学生が特集されていました。学費は保護者に出してもらっても、生活費は自分のバイト代で何とかやりくりしていたところ、アルバイトがなくなり生活費が不足し貯金を切り詰めている大学生、野草生活で食費を切り詰めている大学生、さらに、リモート授業で地元に戻っている保護者の負担を軽減するために、一度も生活することができなかつた下宿を引き払った大学生等、せっかく希望する大学に進学できても、全く学生生活を送ることができていない苦しい現状が紹介されていました。

そんな中でも、発想を転換して取り組んでいる大学生も紹介されていました。社会勉強や自身のコミュニケーションスキルの向上のために、思い切って大学を休学し飛び込み営業のアルバイトを始め各地を飛び回っている大学生は、今後、その会社の正社員になれるなら退学も視野に入れていました。また、兵庫県で就活をしている大学生は、企業が採用を控える厳しい状況ですが、会社訪問もできずリモート面接などになっている中で、逆にそれをチャンスと捉えていました。普段なら、首都圏の大学生はいつでも会社訪問ができ地方の大学生は大変不利なのですが、逆に、今の状況を地方の大学生にとっては、首都圏の大学生と同じ土俵で勝負できるチャンスと捉え、リモート面接に向けて様々な工夫をされていました。

番組の中で、脳科学者が、「人間はさまざまな苦境の中で、それを脱出するために新たな発想を生み出し社会を発展させてきた。」というコメントをされました。飲食業、観光業、航空業界等、新型コロナウイルス感染症で厳しい業界の方々にとっては死活問題の中で、発想を転換し生き残りをかけて様々な取組をされています。この状況の中でも、私たち学校現場の人間は、例年通りという発想からなかなか抜けることができません。

○このような状況下でも、何としてでも例年通りをやるようとする

○このような状況下なので、少しでもできる範囲のことをやるようとする

○このような状況下だから、今までと違ったことをやるようとする

「このような状況下だから」という発想がなければ、今後の見通しが不透明な社会で生き残っていけないのではと考えています。行政経験が長く外から学校現場を見てきましたので、学校現場の感覚や発想だけでなく判断できると思っていました。クラブ振興会費のことでまだまだ甘いと思われました。本年度のクラブ振興会費について、繰越金もあり活動が十分にできない状況でしたので、3年生からは集めず、1・2年については、2・3学期分として3,000円ではなく2,000円にする案で会長に相談したところ、「それは学校の発想ですよ。保護者の中にはコロナ禍で経済状況が非常に厳しい家庭があります。今年は集めない方向でできませんか。」と言われました。このような状況下なので、という発想でしかなかったと気づかされました。繰越金が多くあり、全国・近畿大会がなくなった中でしたからクラブ基金を取り崩して、振興会費を集めない予算を立てることに変更しました。

本校の生徒たちは、新型コロナウイルス感染症対応のために、さまざまな教育活動の制限があり、さらにストレスの多い中学校生活を送っていますが、とても柔軟に対応してくれています。私たち教職員こそ、このような状況下だから今までやらなかったこと、やらなかったことをできる機会と捉える発想の転換が必要だと強く感じています。

今年も卒業式は密を避けるために、来賓・在校生・吹奏楽部の出席はなくなり、保護者の方も最大2名の人数制限をせざるおえません。さらに、感染拡大防止のために卒業生の合唱も取りやめました。そんな中だからこそできることとして、卒業生・保護者の座席配置、卒業生の入退場の仕方を大幅に変更して、少しでも保護者の皆さんに卒業生を間近で見てもらえるように変更することにしました。

現在、本年度の取組を検証し、来年度の行事をはじめとして教育課程を検討していますが、私たち教職員が例年通りに捉われずに発想の転換を図り、生徒たちにこれからの社会を生き抜くために必要なさまざまな経験を積み重ねることができるよう取組を実施していきたいと考えています。

池坊 第23回学校インターネット花展について

本校カルチャー部の活動については、「学校だより」や「ホームページ・最近の行事」等でご紹介させて頂いていますが、「池坊 第23回学校華道インターネット花展」に、3年生の作品を応募させて頂きました。その結果、以下の3名の生徒がノミネート作品に選ばれました。兵庫県では、本校生徒3名と神戸市の中学生の4名だけでした。残念ながら受賞作品には選ばれませんでした。すべての生徒作品が、下記のホームページに公開されていますので、是非ご覧下さい。

○ノミネート者

・□□□□□□・□□□□□□・□□□□□□

○ホームページアドレス

「池坊 第23回学校華道インターネット花展 全応募作品公開」

<https://www.ikenobo.jp/information/13892/>



新入学予定者数は193名・6学級の予定です

2月4日に、来年度の新入生「第77回生 新入生説明会」を実施しました。しかしながら、緊急事態宣言中ということで、児童対象の説明会や部活見学会は中止とし、保護者対象のみといたしました。「学校だより第96号」でお知らせしましたが、中学校1年生を35人以下学級とする来年度予算が議決されれば、本校は6学級となる予定です。2月15日現在の入学予定者数は以下の通りです。

今現在の本校生徒数は545名ですので、183名が卒業し193名が入学となりますと、10名増えて来年度の生徒総数は555名となる予定です。「GO GO GO」(「マッハGO GO GO」)を知っておられる保護者の方は少ないでしょうね…」と語呂もいいですし、少子化が言われる中でとても嬉しいニュースです！

新入生内訳:人丸小学校から 135名 中崎小学校から 45名

その他の小学校から 13名

合計193名